

継続することの大きさ

大阪府 おかだ 岡田 セツ



八尾市で、昭和11年(1936)創業の製菓業を営んでいます。

1995年のことです。バブルが弾け、百貨店3店舗以外すべて撤退し、社員も銀行も離れ、借金だけ残りました。偶然目にした雑

誌にあった鍵山相談役の講演会を、聴きに行きました。「私も相談役も同じように苦労しているのに、相談役は右肩上がり、私はなぜどん底なんだろう」

掃除をしようと思いましたが、主人から「続かないからやめろ」と言われ、3か月悩みました。しかし「やるんやったら皆でやろう」と言ってくれて、8月18日掃除開始、思えば不思議なご縁、相談役の誕生日でした。

15か月目の翌年11月、月次決算が黒字になったのです。嬉しくて、大晦日に工場の隅で相談役に手紙を書きました。「見てもらえなくてもいいわ、大きな会社の社長さんだから」だからびっくりしました。1月2日付けの手紙が届いたのです。もっと驚いたのは、

は、便箋ではなくてノートの紙に書かれていたことです。「1月に大阪城で掃除の会がある」と。参加しました。あのときの相談役の笑顔は今も忘れられません。

同年秋の、第一回ブラジル掃除に学ぶ会へご一緒しました。エコノミークラスで背筋を立てておられる姿を見て、主人も私も感動し、この方の生き方を真似ようと思えました。それから主人と2人、相談役に付いて全国掃除行脚、ブラジル10回、台湾、中国にも行きました。

おかげさまで、公私とも楽しく元気です。掃除を継続することの大きさを教えていただきました。相談役に出逢えて大きな幸せをいただきました。

(5810016 大阪府八尾市八尾木北2-16 瓢月堂)

掃除に学んだ生き方

京都府

川浪 かわなみ

光治 こうじ

約3年前、掃除と鍵山教師塾のご縁をいただき、人生の転機になった。公私ともに「無我夢中」で邁進してきたが、現実はかくも無惨、挫折を味わう。閉塞感に覆われ先の見えない日々。自分の生きる意義と居場所を失ったような気がした。

そんな折に掃除の実践者である後輩との出会いを機に、何かに導かれるように引き寄せられ、掃除と鍵山教師塾に参加させていただいた。休み返上で掃除を実践し、鍵山先生の生き方に触れ、教育について懸命に学ばれる先

生方を拝見し、直感的に自分に足りないものがここにあると感じた。そこで見た光景、先生方との対話、行動に感化されたことは間違いない。

学びと並行して掃除を実践。掃除の時間は自分自身と向き合い対話する時間となった。しかし、自分が求めるような答えはない、現実が変わらない、掃除を続けて意味があるのか、自問自答を繰り返す日々であった。

葛藤が続くなかで、ある日ふと気が付いた。公私ともに「無我夢中」で人のために邁進してきたつもりであったが、それは「自我夢中」であったのだ。地位や名誉にこだわりのあるべきだ、こうすべきだと自分自身の考え、価値観を周りに押し付けていた

のだと。心と魂を磨き、真の自己を見出して言葉や体から光を放ち、世を照らすような人間にならなければいけないと、改心するきっかけを掃除は与えてくれた。

最近学んだ言葉に「一燈照隅、万燈照国」(天台宗 最澄)がある。この言葉を、安岡正篤先生は解説している。「人が振り向こうが振り向くまいが、それは問題ではない。ただ、一途に自分の真心を尽くす。その一隅を照らす行動に励まされた人々が、自分も一隅を照らすような行動を決意されて、いつしか輪が広がっていくものだ」

これからも掃除を通して、「一隅を照らす生き方」を求め続けたい。

(615-8227 京都府京都市西京区上桂宮ノ後町23-7)

職場を変えた掃除道

沖縄県

川畑 かわばた

文夫 ふみお



1990年、倫理法人会の有志と「沖縄中部掃除に学ぶ会」を立ち上げました。この30年間で、学校を中心に100回以上活動しました。今はコロナ禍で、毎月地域の公民館で10人程度の活動を続けています。

トイレをきれいにすることの大事さをいう人は多いですが、実

際に自分でトイレを磨く人は多くはいません。私もその一人でした。鍵山相談役の生き方や行動は、そんな私の人生を変えるほどの衝撃を与えました。

30年前、私はトイレ掃除は事務の女性社員がするのが当たり前だと思っており、汚れていても気にもしませんでした。そんなとき、掃除に学ぶ会に参加する機会がありました。

目の前で便器に手を突っ込み、真剣に汚れと格闘する方を見て、「なんなんだ、これはー」と恐怖に近い驚きを覚え、言葉が出ませんでした。そしてその多くが経営者と聞いて、さらに驚きました！ リーダーの指示のまま便器を磨き、きれいになったときのすがすがしさや達成感はず

れられません。

いま私の会社では、良い職場はまずきれいなトイレからという思いで、トイレ掃除は男女を問わず、気づいた人が行っています。私は強制したことはありません。

社長の私は、工場のトイレを朝5時から毎日1時間みがい었습니다。12年を過ぎたころ、今は部長になった当時作業員の男性が手を上げ、彼が毎日便器を磨くようになりました。そこで私は、会社周辺の清掃を日課としています。

一度のトイレ掃除との出会いが、わが社のあるべき姿や考え方、企業観まで変えてしまいました。感謝です。次の若い世代に掃除に学ぶ心を伝えていきたいです。

(904)2155 沖縄県沖縄市美原4-4-1

(株)ローヤル鍵山秀三郎
創業社長様の真髓

静岡県

金原

一平



私の鍵山秀三郎様とのご縁は、
30年前の1993年1月20日に
さかのぼります。

鍵山様は当時(株)ローヤルの社
長であり、全社員が日々早朝か
ら始業までの間、会社のトイレか
ら社内、そして周辺の道路を2キ
ロに及んで、徹底した清掃をされ

ておりました。

その評判を聞くにつけ、紹介
者の船井総研三上元コンサルタ
ントと、その早朝からの現場見学
のチャンスを得ることができま
した。

「企業の真の力と使命は理念と
教育にあり」との考え方には共感
を覚えるもので、この実践者こ
そが(株)ローヤルの鍵山社長であ
り、経営者の鏡であると感得し
た次第です。

弊社は、制服類の企画製造販
売をする会社ですが、爾来朝の
社内掃除と近隣地域での日々清
掃の習慣を、社風にまで高める
全社員の一丸態勢を以て8年が
経過しました。

そして21世紀スタートの年、
2001年(平成13年)に磐田掃

除に学ぶ会の事務局を社内に設
け、社長自らが磐田掃除に学ぶ
会の代表世話人の役目を担い、
晴れて文化の日11月3日を選ん
で、念願の第1回磐田掃除に学
ぶ会発足記念大会の開催の運び
となりました。

当日は磐田市立磐田北小学校
を会場に、全国から関係者が集
合し、鍵山秀三郎様には日本を
美しくする会会長として「大きな
努力で小さな成果」のテーマでご
講演をお願いしました。

翌4日は、250名の掃除実
習大会を大成功裏に終えること
ができました。そのときの感激は
今でも脳裏に焼き付いて、生涯
忘れ得ない思い出の一コマです。

(438 0086 静岡県磐田市見付2426-66)

わが使命に気づいた 人生感動の日

福井県

松木

延倫



私と掃除との出会いは、鍵山秀三郎さんとの出会いでもありません。

最初にお会いした第6回志ネットワーク全国会議で、「私は、『人を喜ばす』、『譲る』、『掃除』の三つをこころがけてきました。人

の心を荒ませる悪循環を断ち切ることが私の使命です」と話されました。

私は土地家屋調査士で、境界線・地境を扱う仕事です。境界の紛争は、まさに正しさと正しさの激突です。私には以前から、もし互いが相手の正しさを理解し受け入れることができれば、紛争も解決するという思いがありました。戦争や争いも同じです。

「人の心を荒ませる悪循環を断ち切る」鍵山さんの使命、この言葉で、「お互いの正しさを主張する悪循環を断ち切る」のが私の使命と気づいたのです。

1995(平成7)年2月11日、建国記念の日でした。あの感動の瞬間を、今も忘れることはできません。

鍵山さんとのご縁がきっかけとなり、あちこちの掃除の会に参加させていただき、掃除の手順や道具の使い方に圧倒され、2001年「福井掃除に学ぶ会」を立ち上げました。

続けていたら、掃除道具や手順の整理・整頓が、身のまわりの「いるものを残し、いらぬものを捨て、順序正しく片付ける」習慣を作り、「今、何をすべきか」、「すべきでないのか」、順番を考えて行動するようになり、掃除が私の人生を変えました。

イギリスに「ミルクを飲む人よりも、ミルクを運ぶ人のほうが健康になる」という諺があります。日々、それを実感させてくれるのが「福井掃除に学ぶ会」です。

(918・8104 福井県福井市板垣2-523)

教師の生き方を学んだ 鍵山相談役との出会い

山口県 三好^{みよし} 祐司^{ゆうじ}



教育正常化を掲げる教職員団体「全日本教職員連盟」の委員長だった東京在勤の2004年、鍵山相談役とお会いしました。

「この方の近くで時間を過ごしたい」と思うようになり、月に1

回の新宿街頭清掃に参加するようになりました。著書を片端から読み、鍵山秀三郎氏の生き方を学ぶ中で、私の教師像が大きく変わっていききました。

それは、高い教育技術を身に付けるのではなく、教師が下座に下りて謙虚に学ぶことが大切であると。つまり「人を磨いてやる」ではなく、教師自らが「自分を磨く」という考え方でした。

東京勤務を終え、2007年故郷山口県に帰り、再び教壇に立ったとき、鍵山相談役から学んだことを具現化するよう心がけました。赴任した柳井市立大畠中学校で、鍵山相談役に生徒に話をしていただきました。すると、私の前に自分の目標に向かって素直に取り組む子どもたちが

いました。

教頭を経て、再び大畠中学校校長として赴任したときには、掃除に本気で取り組む子どもたちの姿が伝統となりました。

結局、教師の役割は子どもにテストで高い点数を取らせたり、良い学校に入れたり、自分の利益だけを考えることではなく、「他者のため、国のため、未来の人のために生きる人間を育てる」ことでした。この大切な教えを鍵山相談役から学びました。相談役と出会っていなかったら、私は自分の実績をひけらかすだけの傲慢でつまらない教師になっていたでしょう。相談役との出会いは、人生の宝物であったとしみじみ思います。

(743 042 山口県光市宝町5-18)

「成功するかどうか」は 準備で決まる

新潟県

村山 むらやま

寿浩 かずひろ



新潟県十日町の、(株)村山土建に勤務しています。2003年「十日町掃除に学ぶ会」の事務局を引き受けましたが、私は言われたままの道具の準備、当日の受付などを行なっているだけでした。当日不足のものが出てきても、淡々とやっていました。

そんな自分の事務局に対する認識を、大きく変える出来事が起きました。それは、2008年「第3回関東ブロック大会」が、十日町開催と決まったことでした。

私は、第2回関東ブロック大会(東京)に参加して、事務局の仕事を上政広さんや千種敏夫さんに教えていただきました。学校との連絡、日程調整、参加者募集、参加受付、宿泊手配、班分け、道具準備、プログラム、名簿作成、役割分担などなど、膨大かつ緻密な内容でした。

これらのことを知るにつけ、自分にできるだろうかと不安になりました。大会が近づくにつれ緊張しましたが、しかし新上さん、千種さんはじめ関東ブロック関係者のお支えで、大会を無事終

えることができました。

私が一番学んだことは、「成功するかどうかは、準備で決まる」ということです。自分に経験のないことも、皆さまの力を借りればできるということも、自信になりました。

そして、お世話になった方々に恩返しをしたいという気持ち萌芽生えてきて、各地の大会や台湾の大会にも、積極的に参加させていただきました。

私に成長の機会を与えていただいた当社社長、そして多くの人たちの支えがあって、今の自分があることに氣付かされます。掃除は、丁寧に生きていく上で欠かすことのできないことだと実感しています。

(948 0031新潟県十日町市山本町1丁目71-2)